日本獣医生命科学大学
同窓会報
第52号
平成30年1月15日発行
日本獣医生命科学大学
同窓会
東京都武蔵野市
境南町1-7-1
発行者　中條　眞二郎
直通電話・FAX
0422-33-2916
E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
URL http://nvlu-dosokai.academic-sol.com/

謹賀新年

日本獣医生命科学大学同窓会会長
中條　眞二郎

新年を、同窓生の皆様はどのようにお迎えになられたでしょうか。皆様に幸多い年になりますようご祈念申し上げます。

また、平素より同窓会の運営につきまして、会員皆様のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

懸案事項でありました会則改正は、役員のご苦労により平成29年度代議員会に上程し、承認を得られました。新会則は平成30年4月から施行されますが、支部会則は関連する事項の改正が生じるかと思われますが、ご検討をお願いします。

正会員（会費納入者）を増やすには、同窓会の運営が各学科の卒業生の意向を十分に反映し、しっかりした基盤とすることが重要だと思います。

それには、従来活動している都道府県各支部の強化を図ることが大事で、偏ることのない各学科の多くの同窓生が参加することが支部活動を盛んにします。支部と本部の連携強化により全学科の意見が取り上げられ風通しの良い、盤石な運営が期待されます。また、同期会、研究室のOB会、クラブ・同好会OB会、卒業後の職場などは、ミニ同窓会と取れます。各々の集会は特定の人達と親交を保つ役割上、大事にしていかなければなりません。

本部同窓会の目的は、①会員相互の親睦、②学術交流、③母校発展に寄与、この目的は他大学の同窓会と遜色なく、この目的を達成させるには、大学の特色なども配慮して、適宜の判断で事業活動を目指す努力が必要ではないでしょうか。各学科同窓生の先輩・後輩・同僚との親睦を深めるためには、学科同窓会等も現況に合わせ開催することが必要かと思います。これらの会は懇親を深める目的の達成に繋がる会であることが分かります。しかし目的の②と③は本部同窓会の事業として、世代が代わっても継続的に行われなければならない事業です。これからの遂行は、同窓会本部が担うことになります。

半世紀における同窓生数の内訳は、応用生命科学部の動物科学科と食品科学科を合せて約六千名を超えました。一方、獣医学科と獣医保健看護学科を合わせても約五千名弱です。応用生命科学部同窓生数が多くなったことがお分かりになると思います。応用生命科学部の昭和40年代に卒業された方の年齢は70歳を過ぎます。年配者の方々も含め、同窓会の運営に参加いただければ、永年に亘る会員数の増加の願いが叶い、同窓会の発展と大学に対する強力な支援団体となります。少子化による受験生減少、獣医界にとってネガチブのイメージを世相に植えつけた加計学園獣医学部の設置認可など、今後の予期しない諸問題に対して、微力でも対処、支援できる同窓会でなければなりません。

同窓生は年々約四百名が増え、それに伴い事業収支も増えます。同窓会は、親睦団体で会員皆様の会費によって運営されています。皆様にご理解頂きたいのは、同窓会の予算は入会金に依存していることであります。会費納入の免除者も年齢を80歳と引き上げさせた頂ました。年々母校に関心深い同窓生が加齢の為ご逝去され、若い会員の方々は母校を向いてくれないし、悩みは解消できません。現状で年配者に頼り申し訳ないことですが、いかに会費納入者を増やすことができるか、全学科同窓生による運営をどうすればよいか、この難題を会員皆様と熟考したいと思います。将来の同窓会への命題として残りました。早期に会費納入者を増して、入会金に依存しない予算となるように改善しなければなりません。言うは易し行うは難しの喩通りです。対策は会員皆様の温かいご支援を賜るしかありません宜しくお願い申し上げます。

奇しくも会則改正に合わせて、動物科学科70周年、食品科学科50周年の式典と祝賀会が平成29年11月11日に本学で開催されました。両学科同窓生、来賓・同窓会役員、大学教職員など多数の参加で盛会裡に執り行うことができました。

動物科学科は、昭和22年に畜産学科として創設されましたが、第二次大戦後間もない困窮な時代で、受験生を集めることが出来ず休眠状態となっていました。昭和43年に経営畜産学科として再設され、平成13年に動物科学科に改称されました。

食品科学科は、昭和42年に畜産食品工学科として新設され、平成12年に食品科学科に変更されました。

両学科は、職域が限定されず広域の分野で社会貢献をしている学科で、卒業生の皆様が活躍されていることを耳にします。

卒業後、定年を終えられた方、現役バリバリの方、一同に会する機会があれば楽しいひと時と、なつかしい思い出を語るひと時を過ごせる会になると確信し、大学関係者に働きかけもしました。当日参加された同窓生は短い時間ではありましたが、大変楽しそうに歓談し雰囲気は学生時代に戻ったような熱気があふれていました。これを機会に同窓会発展のため、両学科の同窓生の皆様のご支援ご協力の程お願いする次第であります。

同窓会の歴史にも残る素晴らしい式典と祝賀会開催にあたりお骨折り賜りました大学関係者に対し、参加者に変わり厚く御礼を申し上げます。

本年も同窓生皆様の母校愛を信じ、同窓会を温かくご支援賜りますようお願い申し上げます。

池本名誉学長が瑞宝章を受章

平成29年度秋の叙勲で教育研究功労に対し、**瑞宝中綬章**を授章されました。

池本　卯典（いけもと　しげのり）昭和4年12月28日生

専門分野は法医学、人類遺伝学

主要経歴

昭和29年3月　専修大学法学部法律学科卒業
昭和29年5月　地方警察科学捜査研究所勤務
昭和34年3月　日本獣医畜産大学獣医畜産学部獣医学科卒業（獣医7期）
昭和34年4月　警察科学研究所科学捜査部法医学研究室勤務
昭和49年8月　自治医科大学医学部勤務
平成7年7月　自治医科大学名誉教授（現在に至る）
平成11年10月　日本獣医畜産大学学長に就任（平成28年9月まで）
平成28年10月　日本獣医生命科学大学名誉学長（現在に至る）

平成29年11月30日、同窓会役員数名が授章のお祝いに訪問しました。

平成29年度日本獣医生命科学大学同窓会理事会・監事会および代議員会が開催される

平成29年7月29日（土）午前10時より、会長、副会長3名、理事27名、監事3名が出席し、母校第一会議室において同窓会理事・監事会が開催された。中條同窓会長が議長となり、代議員会へ上程される議案について審議され、了承が得られた。

同日、午後1時より、母校E棟第111講義室において平成29年度代議員会が開催された。中條会長、鈴木顧問、副会長3名、理事27名、監事3名、代議員48名、支部代表6名の出席があった。

開始前にこの一年間に逝去された同窓生への黙祷がなされた後、吉田常務理事の司会により開会が宣言された。

会長および来賓の挨拶（概要）は次の通りであった。

中條　眞二郎会長

九州地方の方々にお見舞い申し上げます。28年度に池本学長から阿久澤新学長に代わりました。新学長への期待は、同窓会としても非常に大であります。また、17年間お勤めになりました池本前学長のご功績に対して同窓会として感謝申し上げたい。

今年11月に応用科学部の動物科学科の70周年と、食品科学科の50周年式典を同窓会が全面的な協力をして行います。

現在の会則は昭和45年に作られたもので、獣医学科同窓生主導の会則という感が否めません。現在、獣医学科以外の同窓生が、本会へ参加し活躍してもらうかが課題です。そして会費納入者数を如何にして上げるか。この2点が同窓会の大きな命題かと思います。そういうことも踏まえて新会則を作成致しましたので、会則改正案のご審議を宜しくお願いします。

学校法人日本医科大学　坂本　篤裕理事長

法人は従来の方針を守るということで、3つ掲げさせていただきます。

第1点は、分かりやすくリスクオフしていく。大学の法人で何が起きているか、獣医大学に何を認可し、何を否認可したかを把握する。

第2点は、法人の一部で大事なことを決めるのではなく、大学の幹部そして事務職が一体となって決めていく。

第3点は、財務が非常に苦しい状況ですが、人員の削減等に走らないで、収益性を全ての部署で上げる。

法人が日獣大に負担をかけていないがリス

クオフしていきたい。そして、阿久澤学長にも中長期計画を立てていただいています。これに対して法人では、今まで獣医大が財政面で行ってきた実績に対し、そのまま還元し、中長期計画を遂行できるようにしたい。

今まで、懸念されていました懸案事項は、一つずつ片付けていく方針を取っています。特に同窓生の方々には、財政的にも、事務的にも、ご協力いただけるものと確信しております。法人を挙げて、獣医生命科学大学の着実な発展ができるように確実にバックアップしていきますので、どうぞ、皆様方もご協力よろしくお願いします。

日本獣医生命科学大学　阿久澤　良造　学長

私は1971年、大学22期畜産食品工学科卒業生です。小岩井乳業に就職後、本学の畜産食品工学科の乳学教室の助手として採用いただき、昨年3月定年退職を致しました。昨年10月より、本職をいただきました。

本学は、長い歴史と伝統にふさわしい実力を備えた大学であります。更に発展していくため、中長期計画の策定に取り組んでいます。このような中長期の目標計画は2000年に入り文科省より大学運営に求められてきました。本学では、「愛と科学」に基づく大学改革に向けた第一歩として、多様性を理解し個を磨く大学へと、実現に向けたプロジェクトを5つの重点項目を軸に展開していくところです。5つの重点項目ですが、1つ目は、大学改革のマスタープランである中長期計画の策定。2つ目は、教育の質保証及び向上ならびに多様で特色ある教育の推進。3つ目は、戦略的・独創的な研究及び4学科連携による共同研究の推進。4つ目は、学生を中心とした体制の整備。5つ目は、教育力・職員力の向上に向けた取り組みです。中長期計画策定、そして実施にあたっては、今年度教職員が動き始めたばかりですが、今後は在学生そして同窓生のご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。情報を共有していただけるようにホームページ等でもその進捗を発表し、改革していくところです。何卒、今後ともご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

議長選出　出席代議員の中から立候補者を募ったが、立候補者がいないため理事会で推薦された議長候補を中條会長が紹介した。熊本県代議員　福岡　周孝氏と広島県代議員　宮本　榮作氏の二名。

―拍手で承認された―

書記は、事務局よりお願いした長谷川　薫さん（母校獣医保健看護学科4年）

議事録署名人には、事務局より大学支部の左向　敏紀氏と小田　民美氏が推薦された。

―拍手で承認された―

ここで、議長団が議長席に移動し、本日の出席者数を事務局より報告を受け、代議員会の成立を確認後、議事に入った。

第1号議案　平成28年度事業報告

議長　第1号議案は荻野総務担当理事より説明を願う。

平成28年度代議員会におきまして、役員改正の承認をいただき、この一年間事業遂行に努めてまいりました。代議員会開催後、大学では池本卯典学長から阿久澤良造新学長に交代しました。新学長には更なる母校の発展に尽力いただくことを期待し、同窓会としましては、変わらず協力してまいる所存です。

同窓会室は施設の改装設備が済み、事務作業の効率が向上しました。同窓生には、大いに利用していただくことを願っています。

応用生命科学部の動物科学科は、昭和22年に畜産学科として創設されて以来70年、食品科学科は昭和42年に畜産食品工学科として創設されて以来50年の時を経て、両学科が合同で記念事業を行うことになりましたが、準備の都合により次年度の開催となりました。同窓会会則改正は、会則改正委員会で検討した最終案を次年度代議員会に上程し、承認を得ることとしました。

母校大学祭は、本年度から日本医科大学医学部基礎医学過程と合同の開催となり、名称も「日獣祭」を「医獣祭」と変更し、新たな一歩を踏み出しました。

連携動物病院の募集は、過去の臨床センターの運営に対して、開業の方々が馴染めないこともあるためか、登録者は伸び悩んでいますが、理解を求めるよう努めてまいります。

実施事業

1　日本獣医生命科学大学同窓会代議員会

平成27年7月23日（土）午後1時より

母校E棟1階第111講義室に於いて

出席者　来賓2名、顧問1名、理事25名、監事2名、代議員53名、支部代表11名

2　常務理事・理事会議及び監査

(1)平成28年度理事・監事会

(2)常務委員会

(3)業務・会計監査

(4)同窓会会則改正委員会

(5)会報編集会議

(6)同窓会事務室・会議室移転準備会議

(7)学校法人理事長訪問

(8)護国寺定例訪問

3　会報発行

会報49号発行　10、531名へ発送

会報50号発行　10、348名へ発送

4　主な行事への参加

(1)母校入学式

(2)大学祭期間に同窓会ブース開設

(3)母校教員との懇親会

(4)母校学位記授与式

(5)支部会・連合会への派遣（別表参照）

5　その他
(1)梅野信吉賞受賞者に副賞を贈呈
獣医学科臨床獣医学部門　藤原亜紀講師
獣医保健看護学科獣医保健看護学臨床部門　森昭博講師
(2)平成28年度退職者へ記念品贈呈
西村　敏英教授（食品機能科学）
古山　泰二課長（大学院課）
清水　和弘課長（施設管理課）
亥飼　礼子さん（教務・学生課）
(3)熊本県支部への災害支援
(4)獣医生命科学学会へ支援
(5)日本獣医師会獣医学術学会年次大会（石川支部）へ支援
(6)畜友会へ支援

6　準会員への支援
(1)入学祝い　３８７名へ記念品贈呈　スポーツタオルセット、同窓会誌
(2)卒業記念　３７７名へ記念品贈呈　名前入りペーパーホルダー
(3)同窓会会長賞（各学科卒業生1名に賞状と記念品贈呈）
獣医学科　赤羽根僚太
獣医保健看護学科　梅津萌子
食品科学科　大木真実
動物科学科　沼田歩美
(4)大学祭（医獣祭）へ支援
(5)就職支援活動

第1号議案への質疑はなく、賛成多数で承認された。

第2号議案平成28年度収支決算

議長　第2号議案は寺田経理担当理事より説明を願う

平成28年度一般会計収支計算書（別表参照）
平成28年度特別会計収支決算書（別表参照）
正味財産増減計算書
貸借対照表総括表
財産目録（別表参照）
財務諸表に対する注記
会費納入状況（平成29年3月31日現在）
平成28年度連携病院収支計算書（別表参照）

監査報告（別表参照）が監事より報告。

第2号議案への質疑はなく、賛成多数で承認された。

平成28年度監査報告書

平成28年度同窓会業務並びに会計の収支決算を平成29年5月28日母校において厳正に監査した結果、証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成 29年5月28日

監事　石﨑　孝久　印
監事　水谷　渉　印
監事　桑本卓夫　印

第3号議案　平成29年度事業計画

議長　第3号議案は荻野総務担当理事より説明を願う

29年度は、同窓会会則改正の承認事項が一大事業の年度であります。会則改正の承認が得られれば、平成30年度より新会則によって業務遂行することになりますが、移行措置も考慮にいれた運営を行うことになると思われます。

同窓会と共催予定の、応用生命科学部動物科学科の創設70年と、食品科学科の創設50年の記念事業は、本年11月11日に母校アリーナで開催することが決定されました。会報51号でも案内致しますが、両学科会員に記念事業委員会から詳細な案内が送付されます。

新会則では、他大学出身教職員を特別会員とし、同窓会への参加を条文に謳い、教職員と同窓会との親睦を今まで以上に図ります。

実施事業予定
1　日本獣医生命科学大学同窓会代議員会
平成29年7月29日（土）午後1時より
母校E棟１１１講義室に於いて
2　平成29年度理事・監事会
平成29年7月29日（土）午前10時より
母校E棟会議室に於いて
3　役員会および各種委員会の開催
4　各種行事への参加
5　支部会強化活動
(1)支部総会への役員派遣
(2)その他
6　同窓会会報発行　会報51号、52号の発行
7　連携動物病院の広報及び申請受付
8　母校への支援
(1)梅野信吉賞受賞者への協賛
(2)母校創立１４０周年記念事業への寄付活動
(3)獣医生命科学学会への支援
9　動物科学科、食品科学科両学科の創立記念事業への協賛
10　準会員（学生）への事業
(1)入学祝い
(2)卒業祝い
(3)同窓会会長賞の表彰・記念品の贈呈
(4)大学祭（医獣祭）への支援
(5)就職活動支援
(6)奨学生候補者の選考
11　平成29年度退職者へ記念品贈呈
12　日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分県支部）へ支援
13　その他

第3号議案への質疑はなく、賛成多数で承認された。

平成28年度支部会・連合会派遣一覧

日　付	支部名	派遣者
4月24日(日)	三重	中條会長
6月19日(日)	千葉	池本学長
6月25日(土)	東京多摩	荻野理事
7月5日(火)	山梨	新井教授
7月10日(日)	福島	中條会長
7月30日(土)	大阪	中條会長
7月31日(日)	宮城	中條会長
8月27日(土)	九州連合	河上教授
9月3日(土)	茨城	中條会長
9月10日(土)	新潟	小山教授
9月10日(土)	四国連合	中條会長
10月9日(日)	静岡	太田教授
10月16日(日)	岐阜	小澤教授
10月16日(日)	広島	中條会長
10月23日(日)	群馬	中條会長
11月26日(土)	熊本	中條会長
11月26日(土)	栃木	左向教授
12月3日(土)	長野	中條会長
12月4日(日)	佐賀	清水理事
3月11日(土)	京都	中條会長

第２号議案　平成28年度収支決算

平成28年度一般会計収支計算書

平成28年４月１日から平成29年３月31日まで

収入の部　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差異	摘要
1 同窓会費収入	7,050,000	5,526,000	1,524,000	本年度1,589口、H27年度239口、H26年度14口
2 入会金収入	19,350,000	19,350,000	0	50,000円 x 387名
3 諸収入	42,106,193	42,143,258	△ 37,065	
受取利息	17,630	4,695	12,935	普通預金利息173円、特別会計利息10,959円
寄付金	40,000	100,000	△ 60,000	代議員会来賓寄附２件
同窓会館積立金取崩	42,038,563	42,038,563	0	
雑収入	10,000	0	10,000	
当期収入合計(A)	68,506,193	67,019,258	1,486,935	
前期繰越金	4,140,533	4,140,533	0	
収入合計(B)	72,646,726	71,159,791	1,486,935	

支出の部

科　目	予算額	決算額	差異	摘要
1 事業費	46,350,000	39,481,644	6,868,356	
会報発行費	3,000,000	3,896,206	△ 896,206	印刷会報49・50号243万円、記念誌増刷79万円、発送66万円
事業推進費	1,000,000	279,780	720,220	畜友会25万、日獣祭ブース開設2.9万円
支部助成費	800,000	669,800	130,200	支部1566口46.9万円、獣医師会石川・年次大会20万円
学生会員援助費	3,800,000	3,184,918	615,082	入学祝品93万円、会長賞6.6万円、卒業祝品148万円、医獣祭70万円
学術振興費	1,000,000	600,000	400,000	獣医生命科学会30万円、梅野信吉賞30万円
就職対策費	200,000	0	200,000	
渉外費	300,000	142,600	157,400	母校教職員との交流
慶弔費	250,000	408,340	△ 158,340	H27年・H28年教職員祝品16万円、学長記念講演10万円、弔事３件4.7万円、護国寺５万円等
動物・食品創立50周年記念	3,000,000	0	3,000,000	
熊本・大分災害支援金	3,000,000	300,000	2,700,000	熊本災害支援30万円
創立130周年関連事業費	30,000,000	30,000,000	0	創立130周年記念寄付
2 会議費	4,000,000	3,179,844	808,801	
代議員会議費	3,300,000	2,620,100	668,545	代議員86名分旅費等
役員会議費	700,000	559,744	140,256	役員旅費等
3 事務費	13,200,000	10,236,270	2,963,730	
事務手当	3,000,000	2,484,962	515,038	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅費	1,200,000	858,980	341,020	支部派遣
印刷費	200,000	147,033	52,967	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	200,000	197,068	2,932	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	70,596	29,404	郵便振替、銀行振込
器具備品費	600,000	424,836	175,164	パソコン２台等
ホームページ管理運営費	700,000	118,800	581,200	ホームページ管理料等
同窓会室移転・改装費	7,000,000	5,784,108	1,215,892	耐震シェルター設置工事255万円、ロッカー組立15万、耐震シェルター基礎工事125万円、テーブル組立11万、テーブル/椅子92万円、ロッカー・ソファー等52万円
消耗品費	100,000	124,340	△ 24,340	事務用品類等
雑費	100,000	25,547	74,453	残高証明、お茶等
4 特別会計繰入金	8,711,128	8,829,815	△ 118,687	
名簿発行引当金	2,500,000	2,500,000	0	
記念事業特別積立引当金	6,000,000	6,000,000	0	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
減価償却引当金	201,128	319,815	△ 118,687	
5 予備費	385,598	0	385,598	
当期支出合計(C)	72,646,726	61,727,573	10,919,153	
当期収支差額(A)-(C)	△ 4,140,533	5,291,685	△ 9,432,218	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	9,432,218	△ 9,432,218	

平成28年度特別会計収支計算書

平成28年４月１日～平成29年３月31日

（収入の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差異	摘要
1．繰入金収入	8,711,128	8,829,815	△ 118,687	
2．雑収入	8,380	4,604	3,776	利息は一般会計へ
当期収入合計（A）	8,719,508	8,834,419	△ 114,911	
前期繰越額	104,038,907	107,432,232	△ 3,393,325	
収入合計（B）	112,758,415	116,228,651	△ 3,470,236	

（積立金別の収入明細）　（単位：円）

科　目	名簿発行	記念事業	奨学基金	減価償却
1．繰入金収入	2,500,000	6,000,000	10,000	319,815
2．雑収入	22	4,522	60	0
当期収入合計（A）	2,500,022	6,004,522	10,060	319,815
前期繰越額	2,510,000	92,484,638	7,118,956	5,318,638
収入合計（B）	5,010,022	98,489,160	7,129,016	5,638,453

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差異	摘要
1．繰入金取崩	42,038,563	42,038,563	0	
2．その他支出	8,380	4,604	3,776	
当期支出合計（C）	42,046,943	42,043,167	3,776	
当期収支差額(A)-(C)	△ 33,327,435	△ 33,208,748	△ 118,687	
次期繰越収支差額(B)-(C)	70,711,472	74,185,484	△ 3,474,012	

（積立金別の支出明細）　（単位：円）

科　目	名簿発行	記念事業	奨学基金	減価償却
1．繰入金取崩	0	42,038,563	0	0
2．その他支出	22	4,522	60	0
当期支出合計（C）	22	42,043,085	60	0
当期収支差額(A)-(C)	2,500,000	△ 36,038,563	10,000	319,815
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,010,000	56,446,075	7,128,956	5,638,453

財　産　目　録

平成29年３月31日

（単位：円）

科　目	金額		
Ⅰ．資産の部			
1．流動資産			
（1）現金	50,000		
（2）普通預金	22,539,387		
①三菱東京UFJ銀行	4,400,431		
②三菱東京UFJ銀行	5,010,000		
③三菱東京UFJ銀行	7,128,956		
④三菱東京UFJ銀行	6,000,000		
（3）定期預金	50,446,075		
①三菱東京UFJ銀行	50,446,075		
（4）郵便振替	7,444,377		
（5）未収金	0		
流動資産合計		80,479,839	
2．固定資産			
（1）土地建物	0		
（2）その他の固定資産（什器備品及びパソコンなど）	4,915,620		
固定資産合計		4,915,620	
資産合計			85,395,459
Ⅱ．負債の部			
1．流動負債			
（1）未払金	0		
（2）前受金	0		
流動資産合計		0	
2．固定負債			
（1）名簿発行引当金	5,010,000		
（2）記念事業特別積立引当金	56,446,075		
（3）奨学基金引当金	7,128,956		
（4）減価償却引当金	5,638,453		
固定資産合計		74,223,484	
負債合計			74,223,484
正味財産			11,171,975

第4号議案　平成29年度収支予算

議長　第4号議案は寺田経理担当理事より説明を願う

平成29年度一般会計収支計算書（別表参照）
平成29年度特別会計収支計算書（別表参照）
平成29年度連携病院収支計算書（別表参照）
第4号議案について質疑が行われ後、賛成多数で承認された。

第5号議案　同窓会会則及び関連規程

第5号議案は前もって資料を配布して、精読をお願いしていたので追加説明と質疑に入った。中條会長から、会則改正は会則改正委員会を立ち上げて立案した。神奈川県支部の金原氏（獣医22期）を委員会へ迎え、今日提示した会則を上程することができた。

第5号議案について多くの質疑があり、一部修正され賛成多数で承認された。（次頁に掲載）

閉会

議長団が解散し、吉田事務局長の閉会宣言により閉会した。

平成28年度連携病院収支計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

（収入の部）　（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	摘要
本年度納入金	15,000	0	15,000	3,000円 x 5名
利息	0	0	0	
雑収入				
合計	15,000	0	15,000	

（支出の部）　（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	摘要
事務費	0	0	0	
事務手当				
通信費				
雑費				
事業費	0	0	0	
広報費				
予備費	0	0	0	
合計	0	0	0	
差引繰越予定	15,000	0	15,000	

代議員会終了後懇親会を開催

平成29年度代議員会終了後、母校〝むらさき〟にて参加者が一同に会して懇親会が開催された。久しぶりの出会い、同窓会への期待などへの話が弾み、短い時間でしたが和やかな中終了しました。

「日本医科大学広報」を同窓会員へ配布

学校法人「日本医科大学広報」は、従来大学関係者に配布されていました。この度、法人坂本理事長より、同窓生へも法人の情報提供の依頼がありました。そこで、本会報52号に「日本医科大学広報」を同封致しました。

内容は、法人ニュース、予算・決算、学事、表彰、受賞、病院ニュース、規定、国外留学、訃報、会議、お知らせ、福利・厚生など掲載され、法人の情報伝達の役割を担うものです。

同窓生のご協力とご理解を頂きますようお願い申し上げます。

日本医科大学広報は、法人広報課の原田恭子主任と大澤俊氏が担当されます。

第４号議案　平成29年度収支予算

平成29年度一般会計収支計算書

平成29年４月１日から平成30年３月31日まで

収入の部　（単位：円）

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1 同窓会費収入	6,750,000	7,050,000	△ 300,000	本年度2,000口，過年度250口
2 入会金　収入	20,850,000	19,350,000	1,500,000	50,000円x417名
3 諸　収　入	20,054,695	42,106,193	△ 22,051,498	
受取利息	4,695	17,630	△ 12,935	
寄付金	40,000	40,000	0	
同窓会館積立金取崩	20,000,000	42,038,563	△ 22,038,563	
雑　収　入	10,000	10,000	0	
当期収入合計(A)	47,654,695	68,506,193	△ 20,851,498	
前期繰越金	9,432,218	4,140,533	5,291,685	
収入合計(B)	57,086,913	72,646,726	△ 15,559,813	

支出の部

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1 事　業　費	34,350,000	46,350,000	△ 12,000,000	
会報発行費	3,500,000	3,000,000	500,000	会報印刷、同窓会ニュース、発送等
事業推進費	1,000,000	1,000,000	0	各学科への援助
支部助成費	800,000	800,000	0	45支部分
学生会員援助費	3,800,000	3,800,000	0	入学祝品150万円、卒業祝品150万円、医獣祭70万円、会長賞10万円
同窓会会則発行費	1,000,000	0	1,000,000	印刷、発送等
学術振興費	1,000,000	1,000,000	0	獣医生命科学会30万円、梅野賞30万円、博物館支援等
就職対策費	200,000	200,000	0	学生会員就職対策
渉　外　費	250,000	300,000	△ 50,000	法人・母校等との折衝費
慶　弔　費	300,000	250,000	50,000	本学教職員祝品、弔事、護国寺等
動物・食品創立記念事業	2,500,000	3,000,000	△ 500,000	動物：S22年（1947）、食品：S42年（1967）
熊本・大分災害支援金	0	3,000,000	△ 3,000,000	熊本、大分等
創立140周年関連事業費	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000	大学への寄付20,000,000円
2 会　議　費	3,700,000	4,000,000	△ 300,000	
代議員会議費	3,000,000	3,300,000	△ 300,000	代議員旅費等
役員会議費	700,000	700,000	0	役員旅費等
3 事　務　費	8,300,000	13,200,000	△ 4,900,000	
事務手当	3,000,000	3,000,000	0	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅　費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	支部派遣
印刷費	200,000	200,000	0	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	200,000	200,000	0	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	100,000	0	郵便振替、銀行振込等
器具備品費	100,000	600,000	△ 500,000	事務機器等
ホームページ管理運営費	200,000	700,000	△ 500,000	ホームページ管理料等
同窓会室改修費	3,250,000	7,000,000	△ 3,750,000	電気・水道・塗装・サッシ・大工工事等
消耗品費	150,000	100,000	50,000	事務用品類等
雑　費	100,000	100,000	0	残高証明等
4 特別会計繰入金	9,829,815	8,711,128	1,118,687	
名簿発行引当金	2,500,000	2,500,000	0	
記念事業特別積立引当金	7,000,000	6,000,000	1,000,000	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
減価償却引当金	319,815	201,128	118,687	
5 予　備　費	907,098	385,598	521,500	
当期支出合計(C)	57,086,913	72,646,726	△ 15,559,813	
当期収支差額(A)-(C)	△ 9,432,218	△ 4,140,533	△ 5,291,685	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

平成29年度特別会計収支計算書

平成29年４月１日から平成30年３月31日まで

（収入の部）　（単位：円）

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1．繰入金収入	9,829,815	8,711,128	1,118,687	
2．雑収入	5,771	8,380	△ 2,609	
当期収入合計（A）	9,835,586	8,719,508	1,116,078	
前期繰越額	74,223,484	104,038,907	△ 29,815,423	
収入合計（B）	84,059,070	112,758,415	△ 28,699,345	

（積立金別の収入明細）　（単位：円）

科　目	名簿発行	記念事業特別積立	奨学基金	減価償却
1．繰入金収入	2,500,000	7,000,000	10,000	319,815
2．雑収入	50	5,650	71	0
当期収入合計（A）	2,500,050	7,005,650	10,071	319,815
前期繰越額	5,010,000	56,446,075	7,128,956	5,638,453
収入合計（B）	7,510,050	63,451,725	7,139,027	5,958,268

（支出の部）　（単位：円）

科　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減	摘　要
1．繰入金取崩	20,000,000	42,038,563	△ 22,038,563	
2．その他支出	5,771	8,380	△ 2,609	
当期支出合計（C）	20,005,771	42,046,943	△ 22,041,172	
当期収支差額(A)-(C)	△ 10,170,185	△ 33,327,435	23,157,250	
次期繰越収支差額(B)-(C)	64,053,299	70,711,472	△6,658,173	

（積立金別の支出明細）　（単位：円）

科　目	名簿発行	記念事業特別積立	奨学基金	減価償却
1．繰入金取崩	0	20,000,000	0	0
2．その他支出	50	5,650	71	0
当期支出合計（C）	50	20,005,650	71	0
当期収支差額(A)-(C)	2,500,000	△ 13,000,000	10,000	319,815
次期繰越収支差額(B)-(C)	7,510,000	43,446,075	7,138,956	5,958,268

平成29年度連携病院収支計算書

平成29年４月１日～平成30年３月31日

（収入の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異	摘　要
前年度繰越金	99,036	99,036	0	
本年度納入金	9,000	0	9,000	3,000円x３名
利　息	0	0	0	
雑　収　入	0	0	0	
合　計	108,036	99,036	9,000	

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異	摘　要
事務費	0	0	0	
事務手当				
通信費				
雑費				
事業費	0	0	0	
広報費				
予備費	0	0	0	
合　計	0	0	0	

日本獣医生命科学大学同窓会会則

第1章　総　則

(名称)

第1条　この会は、日本獣医生命科学大学同窓会と称する。

(事務所)

第2条　この会の事務所を日本獣医生命科学大学（以下「母校」という。）内に置く。

(目的)

第3条　この会は、会員相互の親睦を深め、学術の交流を図るとともに母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条　この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

(1) 支部活動への支援及び協力事業
(2) 学会、研究発表会、研修会及び講演会等への支援並びに協力事業
(3) 会報、会誌及びホームページを通しての広報活動事業
(4) 母校への支援及び協力事業
(5) 母校大学祭等催物への支援及び協力事業
(6) 会員名簿の作成及び発行事業
(7) その他この会の目的の達成に必要な事業

第2章　会　員

(会員の資格)

第5条　この会の会員としての資格要件は、次のとおりとする。

(1) 正会員
　母校、母校大学院並びに母校の旧名称である日本獣医畜産大学、日本獣医畜産大学大学院、日本獣医畜産専門学校、日本高等獣医学校、私立日本獣医学校、日本獣医学校及び第二種研究生の卒業者
(2) 学生会員
　母校の在学生
(3) 特別会員
　ア　正会員を除く教職員
　イ　学生会員を経た中途退学者
　ウ　研修獣医師修了者
　エ　他大学を卒業した母校大学院生
(4) 名誉会員
　会員のうち、この会に顕著な功労があったとして代議員会で推薦され、決議された者

(入会の届出)

第6条　入会の届出は、母校の入学手続きをもって換えるものとする。

(入会金及び会費)

第7条　前条の手続きをもって入会した学生は、代議員会において別に定める入会金を入学時に納めるものとする。

2　正会員は、代議員会において別に定める会費を納めるものとする。

(除名)

第8条　会員がこの会の名誉を著しく傷つけ、又はこの会則第3条に定める目的に反する行為をしたときは、代議員会において総議決数の3分の2以上の決議で除名することができる。

第3章　組　織

(支部の設置)

第9条　この会に代議員会の承認を得て、支部を置くことができる。

2　支部の設置について必要な事項は、代議員会において別に定める。

3　支部の運営について必要な事項は、理事会において別に定める。

(会員の帰属)

第10条　会員は、いずれかの支部に帰属する。

第4章　代議員

(選出)

第11条　この会に代議員を置く。

2　代議員の選出は、正会員の中から、原則、支部毎に行う。

3　代議員の定数は、別に定めるものとする。

(任期)

第12条　代議員の任期は、1年とする。ただし、再任をさまたげない。

2　補欠として選出された代議員の任期は、前任者の残任期間とする。

3　代議員は、辞任又は任期の満了後において、後任者が選出されるまで代議員としての権利と義務を有する。

第5章　代議員会

(構成)

第13条　代議員会は、すべての代議員をもって構成し、この会の運営に関する重要事項を決議する。

(権限)

第14条　代議員会は、次の事項について決議する。

(1) 会則の変更
(2) 入会金及び会費の変更
(3) 理事及び監事の選任又は解任
(4) 会員の除名
(5) この会の解散及び残余財産の処分
(6) 理事会において代議員会に付議された事項
(7) その他代議員会で決議するものとして会則又は規程により規定された事項

(開催)

第15条　代議員会は、毎年度 7 月に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第16条　代議員会は、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2　代議員の総議決権の3分の2以上の議決権を有する代議員又は監事全員から目的を示して代議員会の開催の請求があったときは、会長は、30 日以内にこれを招集しなければならない。

3　代議員会を招集するときは、開催日時、場所、目的及び議案を記載した書面で開催日の15日前までに通知しなければならない。

(議長)

第17条　代議員会の議長は、その代議員会に出席した代議員の中から選出する。

(議決権)

第18条　代議員会における議決権は、代議員1名につき1個とする。

(決議)

第19条　代議員会の決議は、総代議員数の議決権の半数以上の代議員が出席し、出席した当該代議員の過半数をもって行う。

2　前項の規定にかかわらず、次の決議は、総代議員数の議決権の3分の2以上の決議をもって行う。

(1) 会則の変更
(2) 監事の解任
(3) 会員の除名
(4) この会の解散及び残余財産の処分

(5) その他代議員会で決議するものとして会則又は規程により規定された事項

3　代議員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合、当該代議員又は代理人は、代理権を証明する書面をこの会に提出しなければならない。

(議事録)

第20条　代議員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

2　議長及び出席した代議員の中から議長が指名した 2 名は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

第6章　役　員

(設置)

第21条　この会に次の役員を置く。

(1) 会長　1名
(2) 副会長　4名以内
(3) 常務理事　10名以内
(4) 理事　35名以上40名以内
(5) 監事　3名以内

(選任等)

第22条　理事は、正会員の中から代議員会の決議により選任する。

2　理事は、代議員を兼ねることはできない。

3　会長、副会長及び常務理事は、理事会の決議により選定する。ただし、副会長は、獣医学科、動物科学科、食品科学科及び獣医保健看護学科卒業者の中からそれぞれ1名を選定する。

4　監事は、代議員会の決議により選任する。

5　監事には、この会の理事、代議員及び事務局職員が含まれてはならない。

(理事の職務及び権限)

第23条　会長は、この会を代表し、会務を執行する。

2　副会長は、会長を補佐し、会務を分担執行する。会長に事故あるときは、予め会長が定めた順位によりその職務を代行する。

3　常務理事は、会務を分担執行する。

4　理事は、理事会を構成し、会務の執行に関する議事を決議する。

(監事の職務及び権限)

第24条　監事は、この会の事業、会計及び資産を監査し、監査報告書を作成する。

2　監事は、理事の業務執行状況を監査する。

3　監事は、理事会に出席して意見を述べることができる。

4　監事は、理事及び事務局に対して事業の報告を求め、この会の業務及び財産の状況を調査することができる。

(任期)

第25条　役員の任期は 3 年とする。ただし、補欠として選任又は選定された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2　役員は、再任をさまたげない。

3　役員は、辞任又は任期満了後において、後任者が就任するまでは、その職務を行う義務を有するものとする。

(解任)

第26条　役員は、代議員会の決議により解任することができる。

第7章　理事会

(構成)

第27条　理事会は、会長、副会長、常務理事及びすべての理事をもって構成する。

(権限)

第28条　理事会は、次の職務を行う。

(1) この会の業務執行の決定
(2) 監事を除く役員の職務の執行の監督
(3) 会長、副会長及び常務理事の選定並びに解職

(招集)

第29条　理事会は、会長が招集する。

2　会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議　長)

第30条　理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(決議)

第31条　理事会の決議は、理事の過半数が出席して行われなければならない。

2　可否同数のときは、議長が決議する。

(議事録)

第32条　理事会の議事録については、議長及び出席した監事が署名又は記名押印する。

(顧問)

第33条　この会に顧問を置くことができる。

2　顧問は、理事会の決議を経て会長が委嘱する。

3　顧問は、会長の諮問に応じ、又は理事会に出席して、意見を述べることができる。

(名誉会長)

第34条　この会に名誉会長を置くことができる。

2　名誉会長は、この会に功績のあった会長経験者から推挙することができる。

3　名誉会長は、理事会が推薦し、代議員会において報告する。

4　名誉会長は、会長の要請に応じて理事会及びその他の会議に出席し、意見を述べることができる。

第8章　財産及び会計

(財産の構成)

第35条　この会の財産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 会費
(2) 入会金
(3) 寄付金品
(4) 財産から生じる収入
(5) その他の収入

(財産の管理)

第36条　この会の財産の管理に関し、必要な事項は、理事会において別に定める。

(拠出金品の不返還)

第37条　会員が既に納付した会費、入会金及びその他の拠出金品は、返還しないものとする。

(会計年度)

第38条　この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第9章　雑　則

(委員会)

第39条　会長は、必要に応じて、委員会を置くことができる。

2　委員は、会員の中から会長が委嘱する。

(内規)

第40条　この会の事務執行について必要な規程は、理事会の決議を経て別に定める。

(附則)

1　この会則は、平成7年7月30日から施行し、役員及び代議員の改選は同年度より適用する。

2　平成5年8月1日から施行したこの会則は、これを廃止する。

3　この会則は、平成18年7月29日から施行する。

4　この会則は、平成30年4月1日から施行する。

動物科学科70周年・食品科学科50周年記念式典を開催して

記念式典実行委員長　天尾弘実

動物科学科70周年・食品科学科50周年記念式典が、11月11日（土）に日本獣医生命科学大学で行われました。午後1時より「記念シンポジウム」がE棟111講義室で、その後「記念祝賀会」がアリーナでそれぞれ開催されました。動物科学科は昭和22年の日本獣医畜産専門学校の畜産科設置から今年で70年、一方、食品科学科は昭和42年畜産食品工学科設置から50年を迎える節目の年となります。

その間、動物科学科では3、163名、食品科学科では3、671名の卒業生を輩出しておりますが、両学科合同の創立記念式典は初めてです。この会の開催は、動物科学科および食品科学科教員が主体となった実行委員会ならびに同窓会との共催となります。当日は、学校法人日本医科大学坂本理事長、本学阿久澤学長、中條同窓会長ならびに66年前に卒業された大先輩を始め、約380名が出席する盛大な会となりました。

シンポジウムは、両学科4名の卒業生と両学科長にシンポジストをお願いし、勉強になる話、懐かしい話そして両学科の未来像など、満席となった聴衆の多くの皆様に御満足いただける内容であったと思っております。

祝賀会では、嬉しいことに予想より随分多い参加者が集い、アリーナ全体がすごい熱気となりました。オープニングの本学・愛奏会の演奏に始まり、理事長と学長の御挨拶ならびに同窓会長と小磯（畜産学科卒業）・山内（畜産食品工学科卒業）両同窓会副会長からの御祝辞を頂戴したのち、紺野元学長の乾杯の御発声で幕が切って落とされました。焼きたてのステーキや美味しいチーズなど食材も豊富で、終始和やかな雰囲気の中、一本締めで終了となりましたが、会話が弾み時間が早く感じられた方も多かったのではないでしょうか。現在、当日の写真を編集して記念誌を作成中ですが、被写体である参加者の皆様に笑顔が絶えなかったのが、何よりです。

最後になりますが、共催致しました同窓会そしてご支援を頂いた大学、父母会に対しまして、心より御礼を申し上げます。有難うございました。

事務局だより

同窓会事務局の業務時間の変更

事務局の業務は、月・火・木・金（祝祭日を除く）の午前11時から午後4時まで堀内奏子氏が対応いたします。何かとご不便をおかけしますが、派遣社員規制などによる影響です、ご理解ください。連絡は本会報一面記載の電話、ファクシミリ、電子メール、郵便等にてお願いします。各種届出、依頼等は発信人が確認できる方法でお願いします。

平成30年4月1日より同窓会会則が改正になります

4月1日より本会報に記載された新会則が適用されます。支部へ直接に影響があるのは、本部会費納入方法、代議員選出方法などであります。本部からも必要に応じてご案内しますが、ご注意下さい。なお、同窓会会則と支部に関連する規程を一月中に事務局あてに送付します。

住所変更は速やかに届出を

市町村合併等による郵便番号、住所表示が変更になったために送付物が多数返却されています。また、転出後の届出が無いと、後に入居された方に御迷惑をかける事例が多くあります。住所変更は速やかに届け出をお願いします。変更届用紙は同窓会ホームページから印刷してください。

会報への投稿のお願い

支部会、同期会、研究室ＯＢ会、クラブＯＢ会等の開催報告（２００～７００字）と写真（ＪＰＥＧ）を添付してメールにて本部事務局までお送りください。到着順、初投稿を優先して会報とホームページに掲載します。掲載スペースの関係で編集させて頂く場合があります、御了承ください。

本部から支部総会への派遣依頼について

本部から支部会への派遣は原則一名で、人選は依頼を受けた順に事務局で調整しています。派遣希望者への支部からの直接交渉はトラブルの原因となり、旅費等が支給できない場合がありますのでご注意ください。

母校展示館への寄贈を御願いします

母校の歴史（目黒時代の教科書、卒業証書、獣医師免許証など）、獣医学、畜産学、食品科学の資料、器具類などに関連した物をお持ちで、博物館に提供して頂ける方のご協力を御願いします。

同窓会会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費納入によって運営されています。今回、本会報に「振込取扱票」が同封されている方は、年会費（三千円）を本部口座へお振込みください。振込票が同封されてない方は所属支部の指示に従って納入してください。振込票にはお忘れなく住所・氏名を記載し、通信欄に卒業学科・期（本送付封筒の住所ラベルの区分記号）を記載してください。住所変更の方は変更ありに○印をお願いします。

年会費一括納入支部へお願い

本部会費を一括納入された支部は、納入者名簿を事務局へお送りください。氏名・区分をお忘れなくお願いします。

母校付属動物病院との連携動物病院の申請

手続き窓口は同窓会本部事務局となっています。詳細については同窓会ホームページをご覧下さい。

次に該当する会員は事務局までご連絡ください

国会議員、市長村長、市議会等へ選出、再選された方。叙勲を受賞された方。他大学で博士号を授与された方。逝去された会員等。

同窓会関係情報

（本部に届け出のみを掲載）

○叙勲者

平成29年度秋叙勲

池本　卯典氏（獣医7期）瑞宝中綬章（二面に関連記事）

本会報51号掲載の、杉谷篤志氏の旭日双章は、旭日双光章の誤りでした。訂正しお詫び致します。

○町長選出

平成29年7月　岩手県気仙郡住田町長

神田　謙一氏（獣医32期）

母校近況

教員人事　庶務課

（平成29年6月3日から平成29年11月15日まで）

○新任（平成29年10月1日付）

教　授

戸塚　護（食品機能化学）

○新任（平成29年11月1日付）

講　師

大塚　裕忠（基礎獣医学部門形態機能学分野）

○昇任（平成29年10月1日付）

講　師

吉村　久志（獣医保健看護学応用部門）

○退職（平成29年7月31日付）

助　教（嘱託）

岡田ゆう紀（獣医学総合教育部門獣医学教育推進室）

○退職（平成29年9月30日付）

講　師

小林　淳（獣医保健看護学応用部門）

学位取得者　大学院課

学位（博士）取得者一覧

（平成29年５月～平成29年９月）

【獣医学専攻　博士課程】

氏名	学位授与年月日	所属研究室
Md. Taimur Islam（えむでぃー　たいむーる　いすらむ）	平成29年９月21日	獣医病理学
澤村　昌樹（さわむら　まさき）	平成29年９月21日	獣医生化学

同窓会協賛「学内ＯＢＯＧ訪問会」開催報告

キャリア支援センター　副センター長　清水謙一

平成29年10月8日（日）14時～17時、キャリア支援センターでは、本学同窓会様のご協力を得て、「学内ＯＢＯＧ訪問会」という就職支援イベントを開催させて頂きました。このイベントは、キャリア支援センター始まって以来の企画でかねてからの目標が実現できたものでした。開会にあたりキャリア支援センター有村センター長、同窓会中條会長にご挨拶をお願いしこの企画の趣旨、目的を参加学生にお伝え頂きました。

今回のイベントの趣旨は、獣医学科・獣医保健看護学科・動物科学科・食品科学科４学科より卒業後５年程の若い社会人を学内にお越し頂き、通常学外で行う「ＯＢ訪問」を学内で実施するというものです。ＯＢＯＧの就職先はなるべく幅広く学生の志向に応えられるように４学科から２名ずつ計８名、また特別講演のため卒業生経営者の方にもご出席頂きました。中には、獣医学科卒で警察科学捜査研究所（科捜研）にお勤めの先輩のお話しをお聞きできるなど、とても興味深い貴重な時間を過ごすことができ会場は時間を忘れて盛り上りました。

当日の午前中は「父母会主催就職活動説明会」が開催されていて、その午後も引き続き残られたご父母がお子さんとご一緒にＯＢＯＧの話に熱心に耳を傾けている姿も拝見できました。

今回、御出席して頂いたＯＢＯＧの方々には連休の合間の日曜日に母校のため貴重なお時間をご提供頂き、参加した学生にとって大変有意義な経験をさせて頂けたことに深く感謝致します。また、このような場をご提供頂けた本学同窓会には次年度以降も引き続きご指導ご鞭撻頂き、後輩たちが立派に日本獣医生命科学大学を卒業していけるようご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年度　日本獣医生命科学大学入学試験の抜粋案内

教務・学生課

平成30年度日本獣医生命科学大学入学試験の今後の日程をご案内します。出願期日の間近な試験日もあります。詳細については教務・学生課入試係〔電話：０４２２―３１―４１５１（代）〕まで問い合わせてください。

入試種別	学部	学科	試験日	試験会場	選抜方法等	Web出願期間
一般（第1回）	獣医学部	獣医学科	２月５日（月） ※１月13日（土）・１月14日（日）のセンター試験を必ず受験してください	本学 大阪 福岡	センター試験英語（筆記）必須 センター試験数学（数Ⅰ・A、数Ⅱ・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学） 物理（物理基礎・物理）から１科目選択	１月４日（木）～ １月12日（金）
		獣医保健看護学科	２月６日（火）	本学 大阪 仙台 福岡	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から１科目選択	１月４日（木）～ １月24日（水）
	応用生命科学部	動物科学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から１科目選択	
		食品科学科			英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から２科目選択	
一般（第2回）	獣医学部	獣医学科	３月15日（木）	本学	英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学） 物理（物理基礎・物理）から１科目選択	２月13日（火）～ ３月２日（金）
		獣医保健看護学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から１科目選択	
	応用生命科学部	動物科学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から１科目選択	
		食品科学科			英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から２科目選択	

平成29年度体育祭が開催された

学生支援センター

平成29年10月11日（水）武蔵野市陸上競技場において、平成29年度体育祭が開催された。本年度は日本医科大学1年生も交えた初の合同開催とし、部活や研究室を中心とした約300名の学生がチームに分かれて競い合った。恒例の綱引きや障害物競争、玉入れ等、体育祭実行委員がアレンジを加えた各種競技が行われた。フィナーレのリレー決勝では熱い戦いが繰り広げられ、大歓声の中、両大学の親交をさらに深めた一日となった。

平成29年度　動物慰霊祭が挙行された

事務部庶務課

平成29年11月1日（水）正午から、第一校舎中庭の「仁畜之碑」前にて、平成29年度動物慰霊祭が、無宗教献花方式にて、しめやかに執り行われた。

参列者全員による黙祷が行われた後、阿久澤学長から、「あらためて実験動物の役割とその貢献を認識し、犠牲となった多くの動物達に心から感謝の意を捧げたい」との追悼のことばが述べられた。

続いて、学生を代表して佐藤菜実子学友会会長から、「私達は動物と接するに当たり常に学生として学ぶ目的を明確に持ち続けるとともに、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れず、善良な獣医師・動物看護師・生命科学者として育つことで動物の慰霊と報恩にかえさせていただきます」との哀悼の意が述べられた。

最後に、阿久澤学長、新井大学院獣医生命科学研究科長、河上獣医学部長、天尾応用生命科学部長、藤田動物医療センター院長、吉村牧場長、袴田生命科学共同研究施設長、横須賀動物実験委員会委員長、佐藤学友会会長の指名献花、教職員・学生等の参列者による献花が行われ、教育・研究のために犠牲となった多くの尊い動物達の冥福を祈った。

平成29年度第2回医獣祭を開催

学生支援センター

平成29年11月3日（金）～11月5日（日）に本学において、第2回医獣祭が開催された。

昨年度に引き続き日本医科大学との合同開催とし、テーマは「医心獣心～細胞レベルで楽しんでる?～」。

「医心獣心」は以心伝心、日本獣医生命科学大学と日本医科大学とが心と心で通じ合うという意味が込められています。

本年は3日間とも好天にも恵まれ、1日目の金曜日（祝日）は2、543名、2日目の土曜日は2、604名、3日目の日曜日は3、131名、3日間合計8、278名と昨年を596名上回る来場者となった。

お笑いタレントを招いてのお笑いライブ、音楽系団体の合唱や演奏、体育系団体の演武やパフォーマンス、ダンス系サークルのステージ、研究室やクラブ・サークルの展示発表、毎年恒例のペットショー、日本医科大学企画の救急救命体験等、非常に盛り上がり有意義な3日間が終了した。

新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学
学長　阿久澤　良造

皆様におかれましては、新たな気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

２０１７年を振り返りますと、自然環境面では、大雨、暴風、季節外れの台風など異常気象に見舞われ、日本各地に甚大被害を及ぼしました。世界共通の課題として地球温暖化対策が急がれます。政治的には、イギリスがＥＵを離脱、アメリカ大統領トランプ氏就任、テロの多発、ヨーロッパ各国の様々な選挙結果などをみますと世界の動向は保護主義的な自国主義傾向を強めています。おそらくこの影響は、日本にも今後多面にわたり、出てくることになるでしょう。経済面においては、安倍政権が経済成長を第一に掲げ、政策を推し進めてきたことにより、経済成長がみられ、一見安定感のある経済環境が整ってきたように思われますが、全体を見渡しますと、いびつな成長であり、格差社会が拡大しています。これは教育を受けるべき子どもたちへの影響も大きく見逃せない実態です。科学技術の面では、人工知能ＡＩの分野が画期的な進歩を遂げ、なおも進化し続けています。デジタル化の波は、日々想像以上の早さで押し寄せてきています。その進み方のスピードにどれほどの人がついていけているのかと不思議に思うことすらあります。

さて、２０１７年の大学での主な取り組みを振り返りますと、各学部学科ともに、三つのポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）を見直し、その専門性において社会ニーズに応えるべく質の高い教育へと充実を図っております。特にディプロマポリシー（学生が卒業するときに最低限必要とする能力）との関係性を意識した積み上げがなされております。この成果は一朝一夕に顕在化してくるものでもありませんが、学校法人日本医科大学ＩＣＴ推進センターとの連携した取り組みにおいて、e-lerningなど学習支援サービスを推進し、学生の能動的学習へとその教育効果を挙げつつあります。

研究においては、質の高い研究と外部からの競争的資金獲得はともにあり、大学運営の基盤として不可欠な要素であります。そのことから、先ずは申請への支援体制の整備を進め、同分野をはじめとする多様な分野との連携を勧めるなど新たな展開を模索してきました。世界的研究拠点となるべく私立大学ブランディング事業へも申請しましたが、残念ながら採択されませんでした。文部科学省研究費助成においては、採択件数、金額ともに増加されており、益々活発な研究基盤が形成されつつあると考えます。

動物医療センターにおいては、ここ数年リニアック（放射線治療装置）の更新が叶わず、診療に支障をきたしていたところですが、今年は更新できることになり、工事開始を待つばかりです。開業獣医師と大学動物医療センターとの連携した医療活動の活性化が進むことを期待しています。

学生の生活は、まだ、老朽化施設が利用されていることから、まずは安全な教育環境への改善を図ってきました。学生が自治会や部活動の拠点としての利用している木造のボーリーズ館と称している建物の利用を停止し、第二校舎に移動しました。また、長い間、懸案となっていた付属農場アニマルファームの牛舎（実習施設）については建て替えに着手することができました。学生は、日本医科大学の学生との共同生活にも慣れ、医獣祭を「医心獣心」をテーマに盛況のうちに終わりました。体育祭も共同開催し、心を１つに通わせ、心の奥底から楽しんでおり、素晴らしいと感じました。

また、２０１７年は、応用生命科学部の動物科学科は創立70周年、食品科学科は50周年という記念すべき年でした。この間、数知れずの喜び、苦難を体験し、それらを全て糧に変えながら歴史を紡ぎつつ、教職員一同・学生共々大志を抱き、懸命に努力して参りました。結果、両学科共に社会における認識も周知となり、培った力で時代の要請に対応できる存在となりました。現在、多くの卒業生たちが、社会で活躍し、大きく貢献していることは、大学にとって大きな喜びであります。これからも社会の要請に応じ、卓越した研究教育研究を推進し、多くの人材を社会に輩出してまいります。

２０１８年の大学は、「Road to 150th」として歩みだした一歩一歩を確認しつつ、目標に向け前進していくことにあると考えます

教育には、永続性が必須であり、常に未来に向けての目標を明確にし、今、すべきことを積み上げていく地道な努力こそが、成果をもたらすと信じております。本学は、歴史と伝統に相応しい実力を備えた大学であり続けなければなりません。今、大学は、目標とその方向性を明確に共有するために、５年毎の見直しを含めた中長期計画「ニチジュウミライ図」の策定に取り組んでいます。ミッションステートメントとして「Connect with the future」を、「動物と人をつなぎ、都市と地方をつなぐ、獣医・生命科学の情報発信拠点」となるために、ビジョンを教育、研究、学生支援、管理運営、社会貢献・産官学連携、動物医療センターの６領域、21項目を設定したところです。今後は、在学生には卒業までの教育と、卒業生には卒業後の本学における教育の役割などについてご意見をいただくなど、ご協力をいただきながら進めて参りたいと考えております。

一人ひとりが、事案を自分のこととして取り組む姿勢は、新たな発想を生み出す原動力となり、意識の高い個人が多くなれば、組織は強くなり、チームワークが生まれ、チームワークが強固になれば、想定外の事態が起きたとしても必ず対応策を講じることができると思います。オープンな議論を尽くし、決断すれば共通の目標に向かって、自信を持って、実行していくことができる大学環境のもと本年も邁進していきたいと思っております。

最後になりましたが、皆様とご家族のご健勝とご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。